

II 主催事業

〔1-①〕「第2回 はやま森の学校」

～切り開け！みんなの可能性！～



1. ねらい

- (1) 普段とは異なる自然の中での体験活動を通して、仲間と共に協力し、課題を解決し、豊かな人間性と社会性を育てる。
- (2) 日常生活とは異なる場所で初めて知り合う仲間と生活し、たくましく助け合いながら生きる力を育む。また、日常生活に感謝の念を抱かせる。
- (3) あらゆる体験を通して、自分に付いた力や友達と協力する大切さを知るとともに、自分を更なる高みへと成長させる心を育てる。
- (4) あらゆる活動において、子どもたちが積極的に取り組み様々な発見ができるよう促し、事象だけでなく、自分の新たな可能性を見いださせる。

2. 実施日

8月20日（木）～23日（日）3泊4日

3. 対象者

小学校4年生～小学校6年生

4. 募集定員／応募人数／参加人数

24人／48人／21人

5. 「第2回 はやま森の学校」のスケジュール

1日目	8月20日（木）
10:30	受付
11:00	開校式
11:30	仲良くなろう（アイスブレイク）
12:40	昼食（持参弁当）
13:30	班活動（めあてカード・ToDoリスト作成）
14:20	火おこし
15:40	工作（ボールペン作り）
16:30	自炊活動（そばめし）
19:30	シャワー
20:30	スタンプ練習
21:05	班活動
22:00	就寝

今回のキャンプテーマを『切り開け！みんなの可能性！』とし、キャンプ補助員はテーマに沿ったプログ

ラムを熟考して森の学校に臨んだ。また募集人数を例年の半分にしたり、消毒・手洗い・検温の徹底や3密を回避する活動内容も考えたりするなど新型コロナ感染症対策に努めるよう心がけた。

開校式では、多くの子どもたちが初めての友達と出会い、期待と不安、緊張する様子が伺えた。しかし、アイスブレイクでの様々なゲームを通して、子どもたちが徐々に打ち解け合い笑顔が見られるようになった。

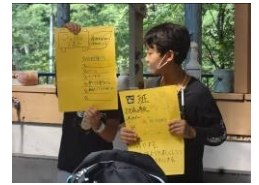
続いて班活動ではグループリーダーのキャンプ補助員を中心に、この4日間の班の目標を決め、その目標を達成するために何をしていくことが大事なのかをToDoリストを用いて子どもたちに話し合わせた。そしていよいよ、初めての班活動。恒例の火おこしである。煙が立つところまでは簡単にできるが、火種から麻ひもに火を付けることが、どの班も困難で、何度も失敗を繰り返した。しかし諦めることなく、手を動かし、声をかからして班員を応援し火を付けることができた。

次はボールペン作り、気に入った木の枝を好みの長さで切り、インパクトドライバーで穴を開け、ボールペンの芯を入れグルーガンで固定した。子どもたちは自分だけのオリジナルボールペンに満足げであった。

自炊はそばめし作り。どの子も初めての自炊作業であり、キャンプ補助員の説明に耳を傾けながら、みんなで役割分担、協力し活動を行った。美味しくお腹いっぱい食べ、笑顔いっぱいの子どもたちだった。

2日目	8月21日（金）
6:30	朝の集い
6:50	朝食（トルティーヤ）・おにぎり作り
9:00	額井岳登山
16:00	自炊活動（カレーライス）
19:00	シャワー
20:00	班活動
21:00	就寝

2日目のメインプログラムは額井岳登山。朝食をしっかり食べるとともに、昼食用のおにぎりを自分たちで握り準備を整えた。炎天下の中、しっかりと水分補給をしながら山頂まで一步一步、歩いた。しかし山頂に近づけば近づくほど道も悪く勾配も急になり、子どもたちの表情も険しくなり口数も減ってきた。そんな時、誰かが発した「ファイト！」の声。その声に、みんな呼応し、声を振り絞りながら山頂に到着することができた。昼食は朝から自分たちで握ったおにぎり。そのおにぎりを口いっぱい頬張り笑顔の子どもたち。その笑顔は、みんなで困難に打ち勝ち、素晴らし



い達成感を得ることができた証拠であった。

3日目	8月22日(土)
7:30	朝の集い
7:50	朝食(マフィン)
8:40	クラフト(竹の器・竹箸作り)
11:20	昼食(そうめん流し)
12:20	ミッションラリー
14:50	スタンプ練習
16:00	夕食(バーベキュー)
18:30	シャワー
19:30	キャンプファイヤー
21:15	班活動
22:00	就寝

今日の最初の活動は竹の器・竹箸作り。のこぎりや小刀を用いて安全に気を付けながら作業を進めた。作業時には器と箸を何に使うかはまだ知らされておらず、昼食のそうめん流しに使うとキャンプ補助員から聞かされたときは、子どもたちみんな大喜びだった。

昼食は子どもたちが大喜びの、そうめん流し。今回は取り箸と器を分けて使用するなどコロナ感染症対策もしながら行った。最後に流れてくるゼリーには、みんな大はしゃぎ。楽しい昼食であった。

午後からはミッションオリエンテーリングを行った。センターの地図を見て班で移動し、植物の葉や種子、枝などで様々な遊びを体験したり、パズルや宝探しをするなど様々な問題に挑んだ。身近にある植物でこんな楽しいことができるなど植物の不思議と偉大さを実感することができた。

夕食は子どもたちが楽しみにしていたバーベキュー。会話も弾み、お腹いっぱい食べることができた。

今日、最後の活動はキャンプファイヤーである。3日間、練習してきた班の出し物をみんなに発表した。どの班もよく工夫して考えられ、笑い声が絶えることがなかった。その他にもキャンプ補助員の出し物で楽しみ。最後は消えていく火を見ながら、これまでの活動を振り返り、明日の最終日に向けて気持ちを誰もが新たにすることができた。



4日目	8月23日(日)
6:30	朝の集い 朝食
6:50	自炊活動(炊き込みご飯)
9:20	清掃
10:25	班活動
11:40	閉校式
12:30	解散

6. まとめ

気が付けば、あっという間の3泊4日。様々な活動を通して、たくさんの知識を深め、友達と協力することの大切さ、そしてテーマである自分の無限大の可能性を感じてくれたのではないかと考える。また毎晩の振り返りを通して個人やグループのめあてをもとに良い点や課題を出し合い、学びや気付きを高め合うこともできた。閉校式では、初日よりたくましい面持ちに笑顔いっぱいの子もたち。森の学校での学びを、またこれからの生活に活かしてほしいと願う。

